

# 1 総 括

## 1-1 業務の概要

近年の技術革新の進展や著しい技術の先端化に伴い、公設試験研究機関においては研究開発、技術支援の高度化がますます強く要請されている。このため、地域産業の「技術的拠りどころ」としての機能を果たしていくためには、生産・加工システム、地域資源の高度利用、新素材・新材料、バイオ・食品、環境・生活・デザイン及び電子・情報などの研究開発が不可欠であり、これらの研究開発を推進することによって、技術水準の高度化を促進し、地域資源や開発した技術の活用による新製品・新商品の開発を行い、新たな産業興しを図る必要がある。

業務の概要としては、県内中小企業を主対象とする技術相談・支援業務、依頼分析・試験業務及び工業技術に資する研究開発業務を主要業務とするほか、J D r e a mⅡ、P A T O L I Sなど技術情報データベースのオンライン検索による情報提供、センター独自のシステムである全国工業系国公立試験研究機関の研究報告をデータベース化した研究報告サービスシステム「メビウス」、メール配信サービス「K I T - e n e w s」等地域企業への情報提供業務の強化に努めており、インターネットのホームページを活用して積極的に情報発信を行っている。また、産学官が自由に設備を利用できる開放型の支援施設「R&D支援センター」を開所し、地域企業の独創的な技術開発や成長分野への展開を円滑に推進している。

## 1-2 組織と業務

### 庶 務 部

- (1) 庶務一般に関すること。
- (2) 他部の所管に属しないこと。

### 企画情報部

- (1) 試験研究及び技術指導の企画及び総合調整に関すること。
- (2) 工業技術に関する情報の調査研究及び提供に関すること。
- (3) 国、地方公共団体、大学、企業等との連絡調整に関すること。

### デザイン・工芸部

- (1) 工業製品及び工芸品に関するデザインの開発研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 工芸品の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 工業製品及び工芸品に関し、依頼に応じて行うデザイン設計に関すること。

### 食品工業部

- (1) 食品工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 微生物及び動植物細胞の食品工業的利用に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 食品に関し、依頼に応じて行う分析及び試験に関すること。

### 化学・環境部

- (1) 化学及び環境関連工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 繊維及び染色に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 化学に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

### 素材開発部

- (1) 窯業及び金属工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 新素材及び複合材料の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 窯業及び金属に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

### 機械技術部

- (1) 機械工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 機械に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び検査測定に関すること。

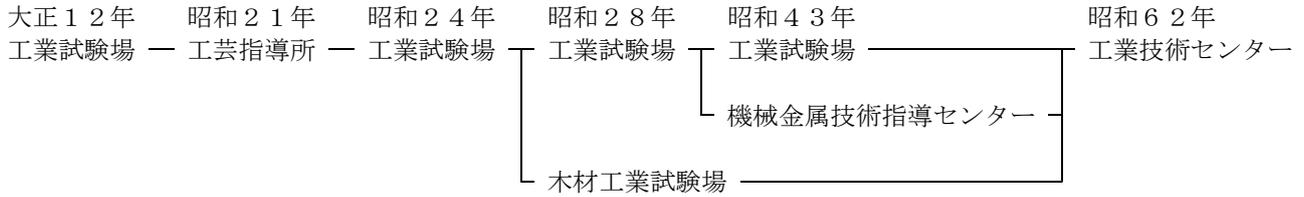
### 電子部

- (1) 電子技術に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 情報処理技術及び通信技術の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 電子機器に関し、依頼に応じて行う試験及び検査測定に関すること。

### 木材工業部

- (1) 木材工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 木材に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

### 1-3 沿革

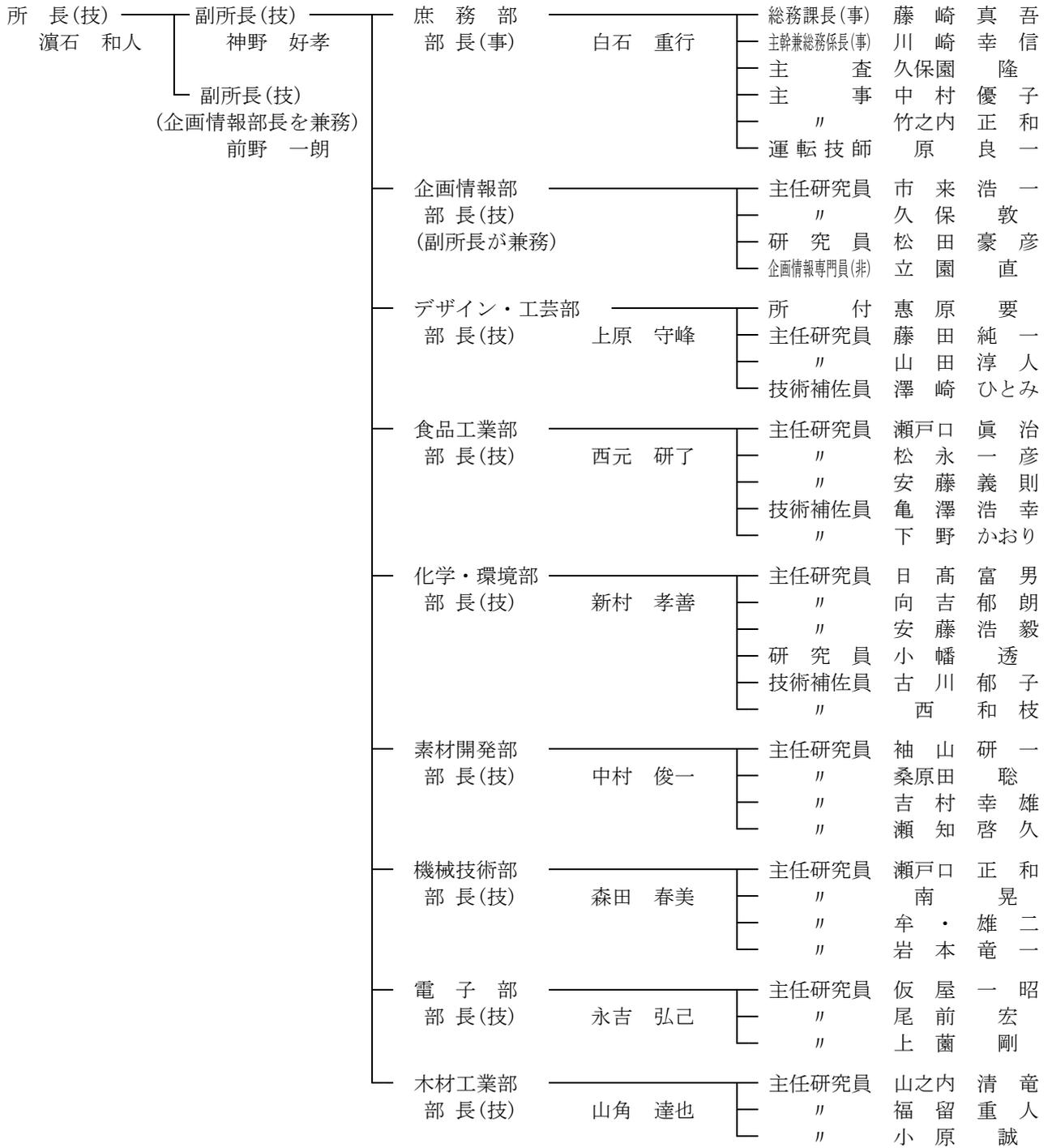


- 大正12年 4月 鹿児島市高麗町に工業試験場を設立し，染色，機織の2部を設置
- 昭和 4年 6月 鹿児島市原良町に移転  
原料糸検査，醸造，玉糸製糸，撚糸，図案の各部を増設
- 昭和15年 4月 窯業部を増設
- 昭和17年 1月 木工，化学部を増設
- 昭和21年 4月 工業試験場に木工養成所を併設
- 昭和21年12月 工芸指導所と改称し，庶務，化学，窯業及び工芸振興の4部に改編
- 昭和23年 1月 竹工部を増設
- 昭和24年 4月 工業試験場と改称し，庶務，化学，及び工芸（木工，竹工，窯業）に改編
- 昭和26年 4月 発酵工業部を新設
- 昭和27年 4月 工芸部より木竹工部を分離・新設，揖宿郡指宿町（現 指宿市）に指宿分場を設置
- 昭和28年 4月 木竹工部と木工養成所を工業試験場より分離して木材工業試験場を設置
- 昭和34年11月 鹿児島市武町に移転
- 昭和38年 6月 指宿分場を廃止
- 昭和39年 4月 工芸部を窯業部に改め，化学部に機械金属班を設置
- 昭和43年 2月 工業試験場の新庁舎竣工
- 昭和43年 8月 機械金属班を分離して鹿児島市宇宿町に機械金属技術指導センターを設立
- 昭和48年 3月 鹿児島市東開町に木材工業試験場を移転
- 昭和62年12月 工業試験場，機械金属技術指導センター及び木材工業試験場を再編・統合し，現住所に工業技術センターを設立，庶務，企画情報（室），デザイン開発（室），食品工業，化学，窯業，機械金属，電子，木材工業の2室7部に改編
- 平成 8年 4月 組織改編により庶務，企画情報，デザイン・工芸，食品工業，化学，素材開発，機械技術，電子，木材工業の9部制発足
- 平成 9年 3月 知的所有権センター開所
- 平成 9年12月 システム技術開発センター開所
- 平成10年 7月 R&D支援センター開所
- 平成13年 4月 化学部を化学・環境部に改編

1-4 機 構

1-4-1 組織と職員配置

(平成18年4月1日現在)



## 1-4-2 職員現況表

(平成18年4月1日現在)

区 分	事務職	技術職	現業職	計	非常勤職員	備 考
庶 務 部	6	2	1	9		所長・副所長を含む
企 画 情 報 部		4		4	1	
デザイン・工芸部		4	1	5		
食 品 工 業 部		4	2	6		
化 学 ・ 環 境 部		5	2	7		
素 材 開 発 部		5		5		
機 械 技 術 部		5		5		
電 子 部		4		4		
木 材 工 業 部		4		4		
計	6	37	6	49	1	

## 1-4-3 人事異動

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

発令年月日	氏 名	新 任	旧 任	備 考	
H18. 4. 1	濱石 和人	所長	商工労働部参事 (研究開発業務調整担当)	転 入	
	久保園 隆	庶務部主査	危機管理局危機管理防災課主査		
	竹之内 正和	庶務部主事	大口土木事務所道路整備員		
	松永 一彦	食品工業部主任研究員	大島紬技術指導センター主任研究員		
	神野 好孝	副所長	副所長(兼)企画情報部長	所内異動	
	前野 一朗	副所長(兼)企画情報部長	食品工業部長		
	西元 研了	食品工業部長	化学・環境部主任研究員		
	間世田 春作	商工労働部参事 (研究開発業務調整担当)	副所長		転 出
	田中 恵美子	大島支庁瀬戸内事務所主査	庶務部主査		
	中村 寿一	商工労働部参事付 かごしま産業支援センター(鹿児島市駐在)	企画情報部主任研究員		
	高峯 和則	鹿児島大学	食品工業部主任研究員		
		鶴木 隆文	鹿屋保健所技術主査	食品工業部主任研究員	
	田島 英俊	林務水産部林業振興課技術主査	木材工業部研究員		
H19. 3. 31	濱石 和人		所長	退 職	
	藤崎 真吾		総務課長		

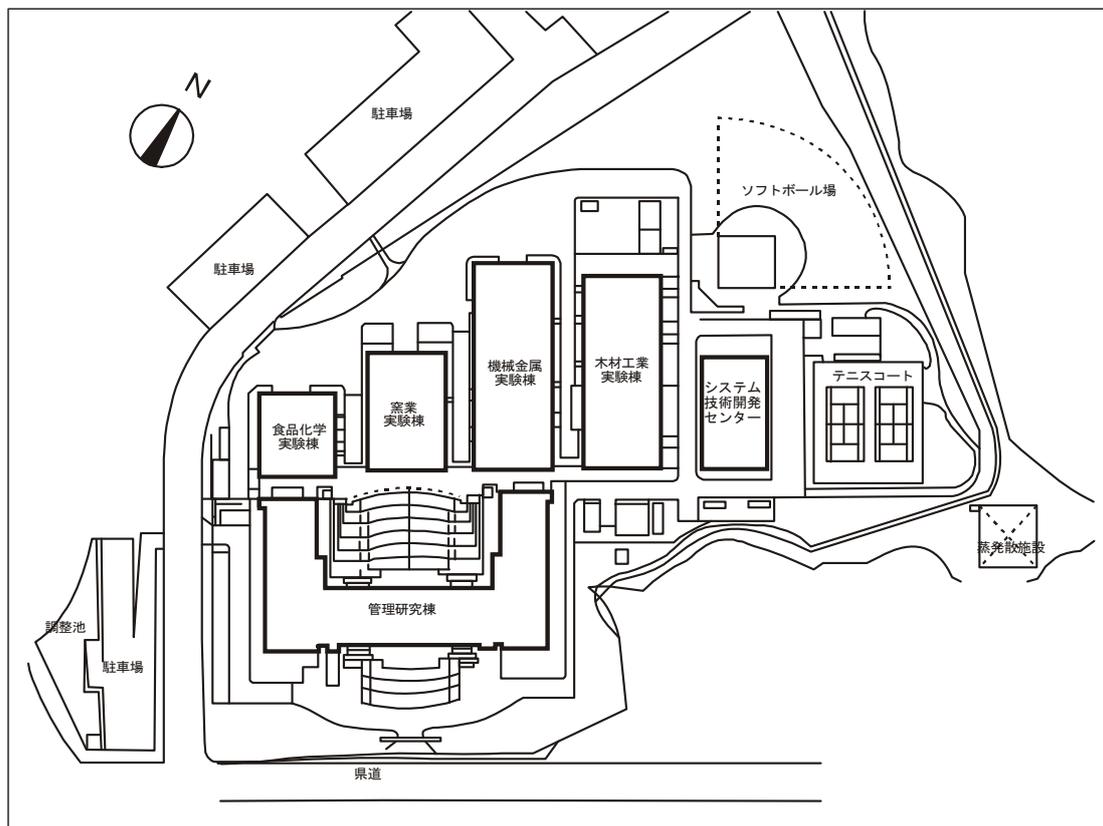
## 1-5 規模

### 1-5-1 土地・建物

土地面積 60,889.02 m<sup>2</sup>  
 建物延べ面積 16,580.17 m<sup>2</sup>

区 分	面 積 (単位 m <sup>2</sup> )	内 訳			
		階別	面積(単位 m <sup>2</sup> )	備 考	
管 理 研 究 棟  鉄筋コンクリート造 地下 1階 地上 3階	9,790.29	地階	911.49	機械室, 中央監視盤室 他	
		1階	2,884.14	庶務部, 企画情報部, 会議室 研究員室, ショールーム 知的所有権センター 他	
		2階	3,097.77	デザイン・工芸部, 食品工業部 化学・環境部, 素材開発部 電子部, 電子計算機室	
		3階	2,540.82	デザイン・工芸部, 化学・環境部 素材開発部, 機械技術部 木材工業部, R&D支援センター	
		棟屋	356.07	機械室	
実 験 棟  鉄骨造 平屋建	食品・化学実験棟	656.10	1階	656.10	食品工業部, 化学・環境部
	窯業実験棟	951.35	1階	951.35	デザイン・工芸部, 素材開発部
	機械金属実験棟	1,640.25	1階	1,640.25	素材開発部, 機械技術部
	木材工業実験棟	1,541.84	1階	1,541.84	デザイン・工芸部, 化学・環境部 素材開発部, 木材工業部
システム技術開発センター 木造(一部鉄筋コンクリート造) 平屋建	1,058.51	1階	1,058.51	産学官共同研究室 実験シミュレーション室 制御測定室, 試作研究室	
そ の 他 付 属 棟	1,026.65			941.83	浄化槽機械室, 車庫 他

### 1-5-2 配置図



## 1-6 決算

## 1-6-1 歳入

(単位：円)

款	項	目	収 入 額	備 考
使用料及び手数料	使 用 料	商 工 使 用 料	2,710,100	
	手 数 料	商 工 手 数 料	5,968,740	
財 産 収 入	財 産 売 払 収 入	生 産 物 売 払 収 入	1,167,000	
諸 収 入	受 託 事 業 収 入	商 工 受 託 事 業 収 入	3,809,150	
	雑 入	雑 入	73,662	
合 計			13,728,652	

## 1-6-2 歳出

(単位：円)

款	項	目	支 出 額	備 考
総 務 費	総 務 管 理 費	人 事 管 理 費	374,146	人 事 課
農 林 水 産 業 費	林 業 費	林 業 総 務 費	18,644	林 業 振 興 課
		林 業 振 興 指 導 費	134,864	林 業 振 興 課
商 工 費	工 鉱 業 費	中 小 企 業 振 興 費	134,602	産 業 立 地 課
		工 業 試 験 場 費	166,053,129	産 業 立 地 課
合 計			166,715,385	(人件費を含まず)

## 1-6-3 補助事業等

(単位：千円)

区 分	補助事業等の名称	事 業 名	事業費	補助率	補助額	交付決定日	備 考
受 託	地域新生コンソーシアム研究開発事業 (経済産業省)	環境・生活・デザイン技術 開発研究事業 (バイオ集積 化チップの性能及び信頼性 評価)	1,190	1/1	1,190	18. 4. 3	
〃	地域新生コンソーシアム研究開発事業 (経済産業省)	新素材・新材料開発研究事 業 (高機能難燃性マグネシ ウム合金及び溶接部材の疲 労強度特性評価)	620	1/1	620	18. 4. 3	
〃	先端技術を活用した農 林水産研究高度化事業 (独)森林総合研究所)	地域資源の高度利用研究事 業 (竹建築ボードの機能性 及び付加価値の付与に必要 な製造技術の開発)	2,000	1/1	2,000	18.10.11	
競輪補助	自転車等機械工業振興 事業・公設工業試験研 究所設備拡充補助事業 (日本自転車振興会)	機器整備事業 (研究機器購 入事業)	5,393	1/2	2,696	18. 6. 1	
合 計			9,203		6,506		

## 1-6-4 検査・監査等

種 別	実施年月日	対 象 期 間	実 施 者 職 ・ 氏 名	備 考
事務監査	平成19年1月16日	平成17年10月～ 平成18年9月	監査委員 本渡 克 監査委員 福山 秀光	

## 1-7 会議等への参加

(件数)

項目	部名	庶務部	企画情報部	デザイン・工芸部	食品工業部	化学・環境部	素材開発部	機械技術部	電子部	木材工業部	合計
試験研究機関連絡会議		4	6	1	4	3	6	1	4	4	33
学会		-	-	-	3	6	1	2	1	2	15
研究会・講習会		7	8	18	26	15	11	12	10	32	139
その他		42	24	21	36	15	11	6	7	17	179

※庶務部は所長・副所長を含む

## 1-8 設備

平成18年度に設備した機器（重要物品）は、以下のとおりである。（2機種）

部名	機器名	型式	メーカー名	備考
機械技術部	非接触式温度測定システム	IR-FA	(株)チノー	競輪補
機械技術部	静的加力装置	MP-4AMP-D	理研精機(株)	競輪補

(注) 競輪補 — 競輪の補助金（日本自転車振興会からの交付）により購入したもの

